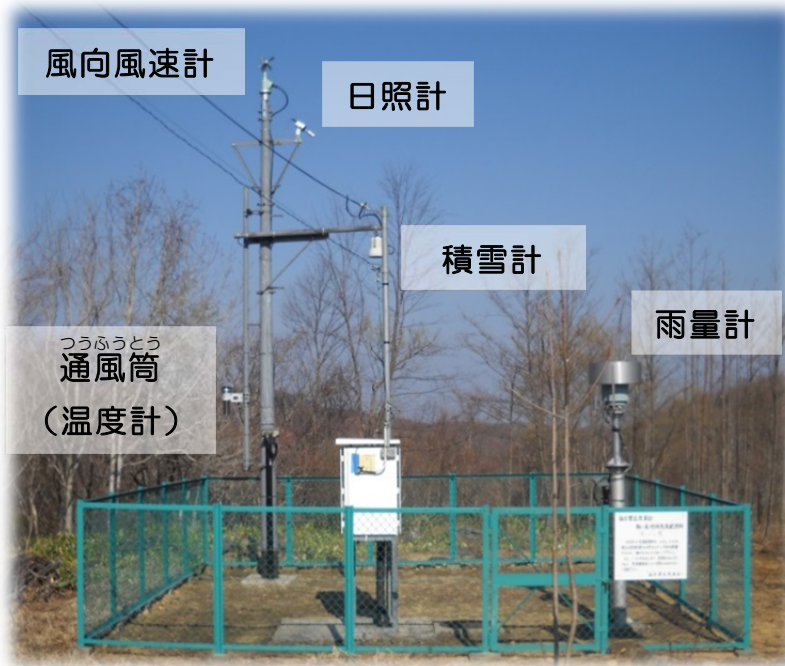


毎日の天気予報で登場するアメダスですが、正式な名前は「^{ちいききしやうかんそく}地域気象観測システム」といいます。

この英語名 (Automated Meteorological Data Acquisition System) の頭文字を^{なら}並べて「アメダス (AMeDAS)」という^{りやくしやう たんじやう}略称が誕生しました。親しみを持っておぼえてもらえるように「^{こゝろあ}雨を出す」と語呂合わせをしたという話もあります。

アメダスは、全国に約 1,300 か所あり、^{きしやうそつき}気象測器^{きき}※という機器を使い自動で観測しています。東北地方には約 210 か所あって、すべてのアメダスで雨量の観測を行っており、そのうち約 150 か所では^{にっしやう}気温、風向風速、日照時間の観測も行っています。また、約 80 か所では積雪の深さの観測も行っています。

※気象庁では、雨や風などをはかる機器を「^{きしやうそつき}気象測器」とよんでいます。



全国各地で観測されたデータは、東京の気象庁に集められ、ホームページで見ることができます (<http://www.jma.go.jp/jp/amedas/>)

